

問合せ先

第八管区海上保安本部海洋情報部

監理課専門官 鈴木 孝志

0773-75-7373(直通)

0773-76-4100(内線 2511)



平成19年10月26日

第八管区海上保安本部

管内海岸の「ESIマップ(環境脆弱性指標図)」の提供開始！

海洋における大規模油流出事故が発生した場合、海岸線の性状(性質・状態)による油汚染の影響を評価し、的確な措置を講じて被害の発生を最小限にする必要があるため、管内沿岸域の海岸線の性状を評価・図化した「ESIマップ(環境脆弱性指標図)」を、11月1日からインターネットホームページで公表します。

第八管区海上保安本部では、1997年1月に日本海で発生したロシア船籍タンカー、ナホトカ号による大規模油流出事故を教訓に、管内沿岸域における油流出事故に備え「沿岸海域環境保全情報」の整備を行っています。

このたび、油防除活動に必要な沿岸海域環境保全情報のひとつである海岸線の性状による油汚染の影響を示す環境脆弱性指標(ESI: Environmental Sensitivity Index)について、福井県・京都府・兵庫県(日本海側)・鳥取県・島根県の各府県沿岸域の調査を終了し、成果として環境脆弱性指標を見やすく表現した「ESIマップ(環境脆弱性指標図)」を作成しました。

ESIマップは油漂着前の海上における防除活動や漂着後の海岸の油防除作業に活用されるほか、海洋環境の保全等に利用することができ、これらのESIマップは、次の第八管区海上保安本部のホームページで利用いただけます。

ESIマップ(環境脆弱性指標図)掲載ホームページアドレス：

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN8/esimap/index.html>

【使用事例】

2006年4月、東京湾口においてコンテナ船と貨物船が衝突、コンテナ船の沈没後、積載していた燃料油の流出事故時の海上防除活動に使用された。

2006年10月、茨城県鹿島港において座礁した貨物船から、積載していた燃料油の流出時の海上防災活動にシーズネット(備考 参照)とあわせ使用された。

沿岸海域環境保全情報とは

沿岸海域環境保全情報は、油流出事故が環境に与える影響を迅速に把握・評価し、的確な油防除活動を講じるための情報です。

情報の種類は、海岸線の環境脆弱性指標、藻場、湿地、油防除のための勢力(油回収船、油回収ネット、オイルフェンスなど)、油保管施設、漁業権区域、

港湾、マリーナ、取水施設などです。

環境脆弱性指標とは

海岸線を各性状（開放性・閉鎖性、岩場・砂浜、干潟、植生など）に応じ、油が漂着した場合の自然浄化能力や除去作業の困難性といった、油汚染の影響の受けやすさから、10段階の数値にランク分けしたものです。

この指標の数値が大きいほど、油汚染の影響を受けやすくなります。

環境脆弱性指標（ESI：Environmental Sensitivity Index）

備考

本図は海上保安庁が、インターネットで提供している沿岸海域環境保全情報（提供サービス名：シーズネット【Ceis Net】）のデータを基に作成していません。

環境脆弱性指標や自然情報など、変化に応じて調査を実施していく予定です。

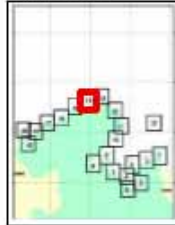
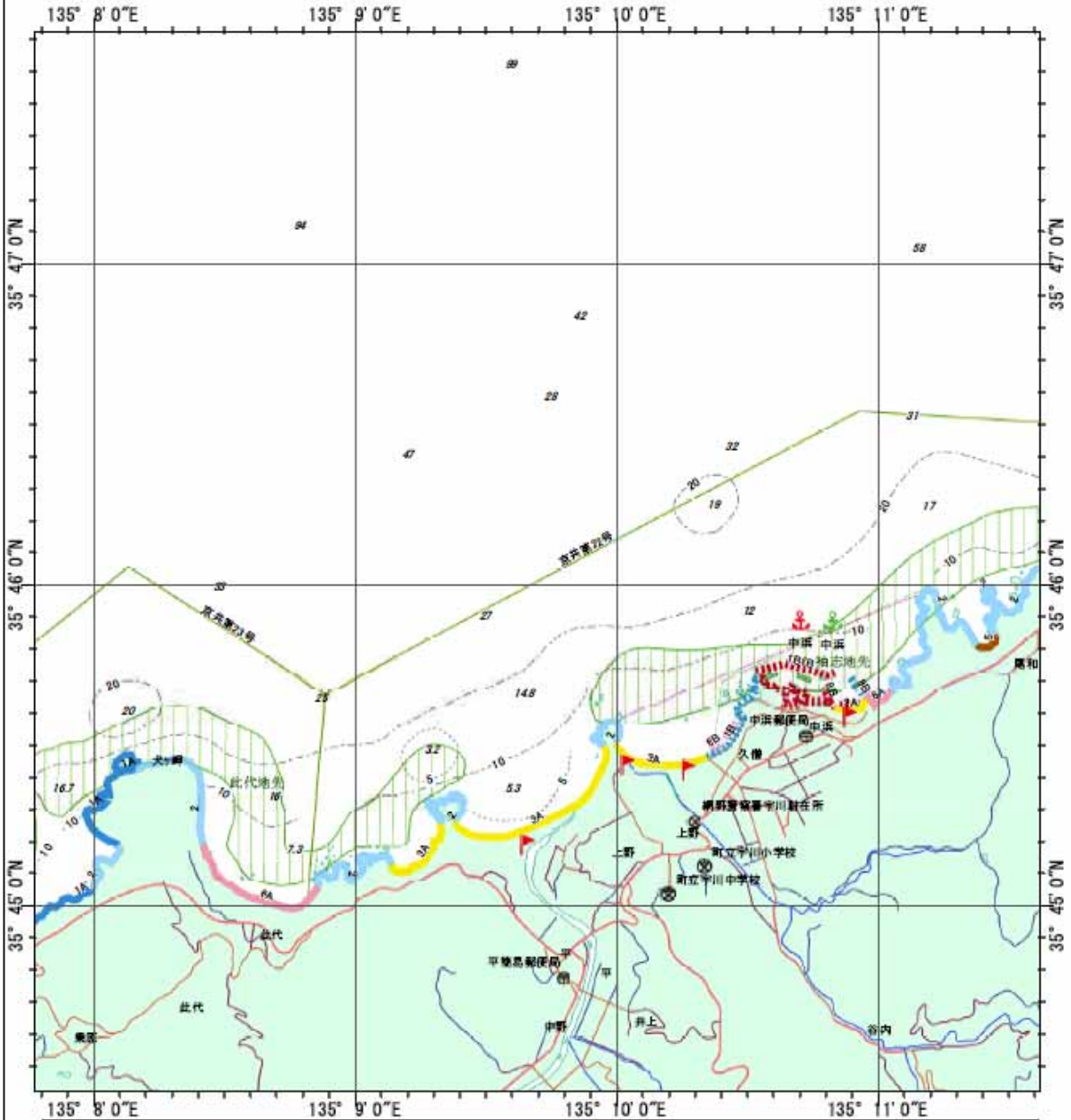
連絡先：第八管区海上保安本部海洋情報部監理課専門官

電話：0773-76-4100（内線 2511）

メール：sodan8@jodc.go.jp（海の相談室）

環境脆弱性指標図 (京都府-14)

Environmental Sensitivity Index Map (kyoto Prefecture-14)



- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1A 開放性海域沿岸部 1B 開放性海域人工構造物 2 開放性海域水生生物生息地 3A 磯の急斜面 4 磯・砂の緩傾 5 砂小島集合系 6A 丸島 6B 防く石部海岸 | <ul style="list-style-type: none"> 7 開放性海域平山平地 8A 開放性海域の標高急斜面 8B 開放性海域人工構造物 9A 開放性海域平山平地 9B 緩急二平 10A 塩水性及30塩基水性沿岸環境 10B 塩水性沿岸環境 10C 淡水性沿岸環境 10D 塩水性湿地 |
|--|--|

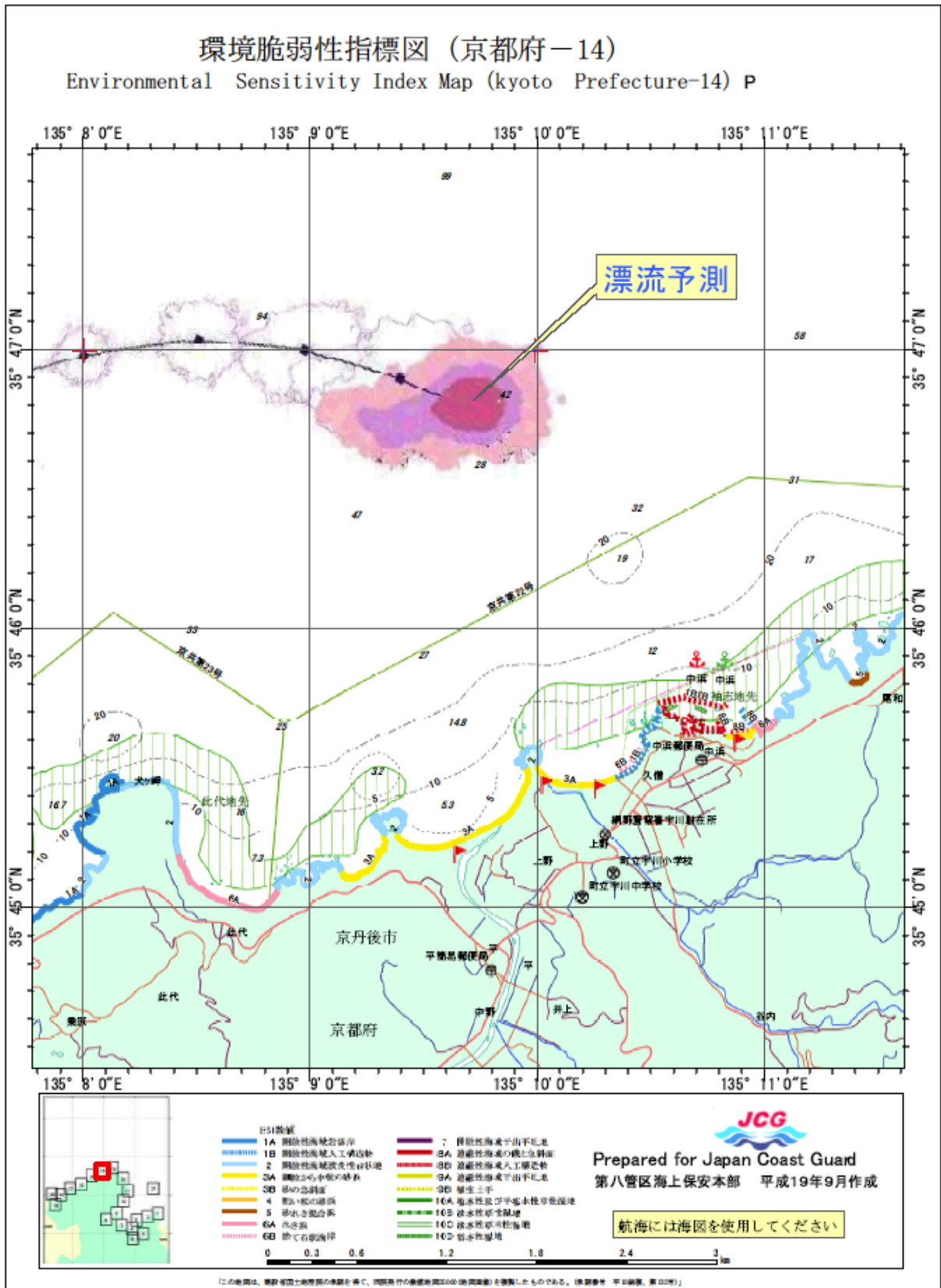


Prepared for Japan Coast Guard
第八管区海上保安本部 平成19年9月作成

航海には海図を使用してください

この図は、海岸等地上測量図の成果を基に、海図発行の準備期間500(海図発注)を要したものである。(発行番号 平19編海 第122号)

ESIマップ利用例



環境脆弱性指標（ESI）数値と海岸線種類

(ESI : Environmental Sensitivity Index)

分類	ES数値	線色	海岸線の種類
1	1A		開放性海域岩海岸
	1B		開放性海域人工構造物
2	2		開放性海域波食性台状地
3	3A		細粒から中粒の砂浜
	3B		砂の急斜面
4	4		粗い粒の砂浜
5	5		砂礫混合浜
6	6A		礫浜
	6B		捨て石状海岸
7	7		開放性海域干出平坦地
8	8A		遮蔽性海域の磯と急斜面
	8B		遮蔽性海域人工構造物
9	9A		遮蔽性海域干出平坦地
	9B		植生土手
10	10A		塩水性及び半塩水性草性湿地
	10B		淡水性草性湿地
	10C		淡水性草木性湿地
	10D		低木性湿地

シンボルマーク一覧

クミガメ産卵地	資材等保有状況	本庁本部等	産地
海獣類生息地	オイルフェンス展開態	保安部等	産場分布
鳥類	クラフター等	航空基地	ラムサール条約登録湿地
港湾	作業船	税関通関事務所等	干潟分布
港則法適用港	タグボート	水格観測所	国立公園
漁港	タンクローリー車	航路標識事務所等	国立公園
発電所	油回収船	海上交通センター	産場分布
排水口	油回収装置	学校	マングローブ
マリーナ	高粘度油回収ネット	海岸利用産業施設	共同漁業権
海水浴場	強力吸引車	天然記念物	区画漁業権
湖干貯り場	集船船	名勝	定置漁業権
海中公園	廃油処理施設	史跡	産場分布 産地、産場、産場法区域、産場法区域、産場法区域、産場法区域、産場法区域 (出力の順にもは変わりませ)
油保管施設	保管施設	港湾状況写真	